

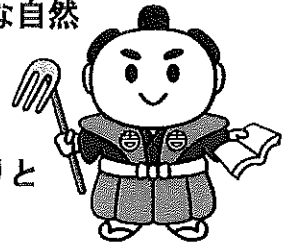
# 資料 1

平成29年5月

# 高梁市教育大綱

平成28-32年度

少子高齢化そして過疎化という厳しい環境下にあっても、高梁の豊かな自然  
やすばらしい伝統文化を活かした教育を進め、子どもたちがふるさとを  
愛し元気に育っていくことにより、地域の教育力は高まり、地域は活性  
化していきます。そのために、就学前から高等教育までの学校教育、家  
庭教育や社会教育を充実させ、教育環境を整備することにより、人づくりと  
まちづくりを一体的に進め、「教育のまち 高梁」の実現を目指します。



## 基本目標

### いだ ひら 大志を抱き未来を拓く人づくり

夢や目標の  
実現を目指して  
努力する人

ふるさとを愛し  
活力あるまちを  
創る人

知・徳・体の  
調和のとれた  
成長をする人

## 基本方針

### ① 心身ともにたくましい子どもを育てます

- (1) 就学前教育の充実を図ります
- (2) 確かな学力の向上を図ります
- (3) 道徳教育を充実させ豊かな心を育みます
- (4) ふるさと高梁に学び郷土愛を育みます
- (5) 健やかな体を育てます

### ② 充実した教育環境を整備します

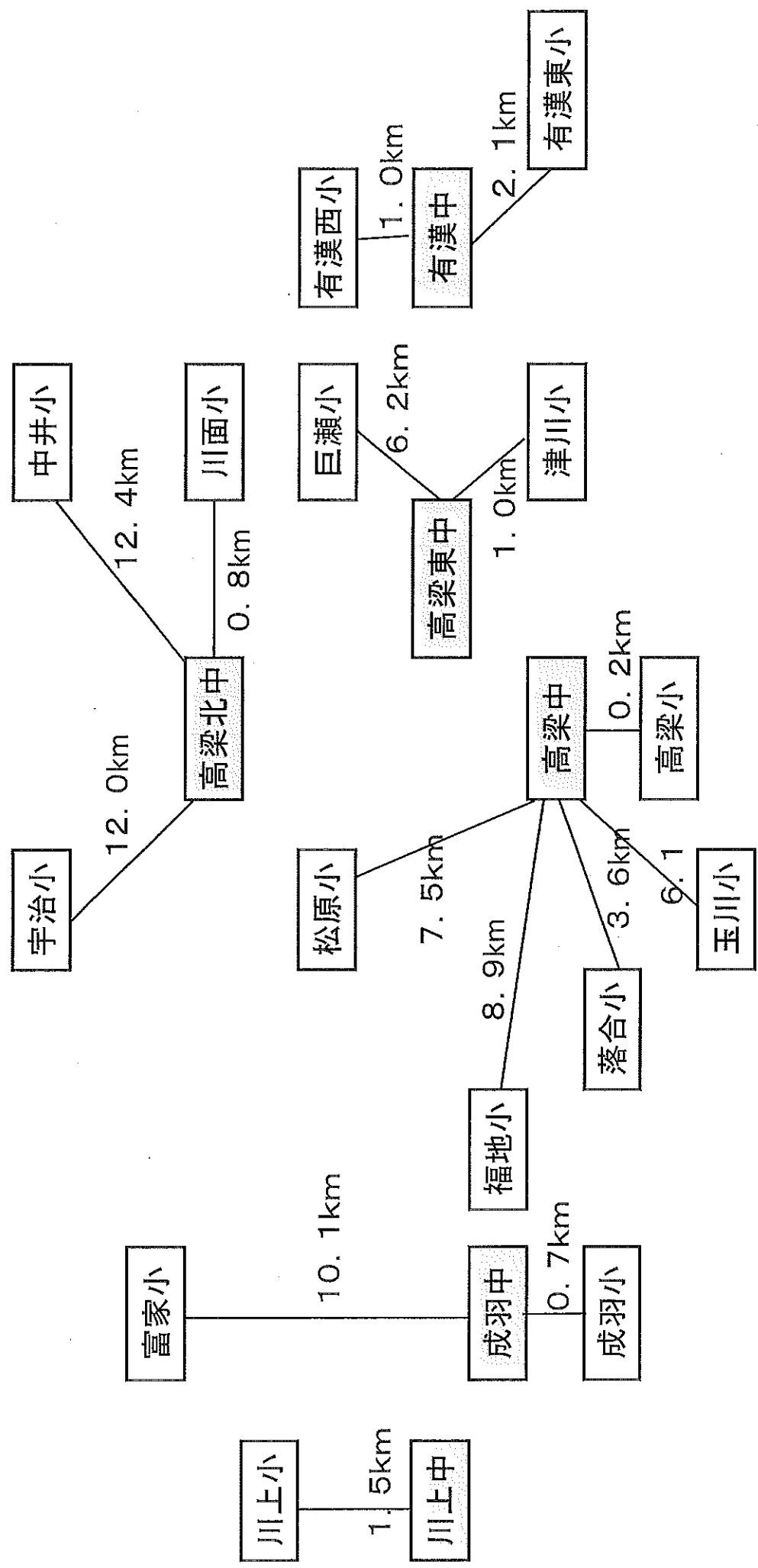
- (1) 教師の指導力を高め人的環境を整えます
- (2) 適切な学校配置を進めます
- (3) 学校支援体制の充実を図ります
- (4) 学校施設・設備の充実を図ります
- (5) 学校給食の充実を図ります

### ③ 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります

- (1) 生涯学習の振興を図ります
- (2) 社会教育施設の充実と活用を図ります
- (3) 地域の伝統や文化の維持向上を図ります
- (4) スポーツの振興を図ります
- (5) 広域的なスポーツ交流を推進します



# 高梁市立小中学校間の距離



平成29年度		児童生徒通学状況					
学校名	児童生徒数	徒歩	自転車	バス	保護者	その他	
高梁小	357	348	0	1	8	0	
津川小	56	37	0	18	1	0	
川面小	65	47	0	7	11	0	
巨瀬小	37	29	0	7	1	0	
中井小	21	20	0	1	0	0	
玉川小	26	26	0	0	0	0	
宇治小	11	2	0	0	9	0	集合場所まで
松原小	24	0	0	15	9	0	
落合小	205	204	0	0	1	0	
福地小	13	0	0	0	0	0	
有漢東小	39	35	0	0	4	0	集合場所まで
有漢西小	62	55	0	0	7	0	集合場所まで
成羽小	165	147	0	18	0	0	
川上小	86	30	0	51	5	0	
富家小	43	28	0	15	0	0	
小学校計	1210	1008	0	133	56	0	

高梁中	325	120	181	14	10	0	
高梁東中	54	1	32	20	1	0	
高梁北中	46	13	4	18	11	0	
有漢中	51	11	36	0	4	0	
成羽中	139	64	30	43	2	0	
川上中	57	2	32	22	1	0	
中学校計	672	211	315	117	29	0	

小中合計	1882	1219	315	250	85	0	
------	------	------	-----	-----	----	---	--

# I 人口の現状

## 1. 総人口の推移

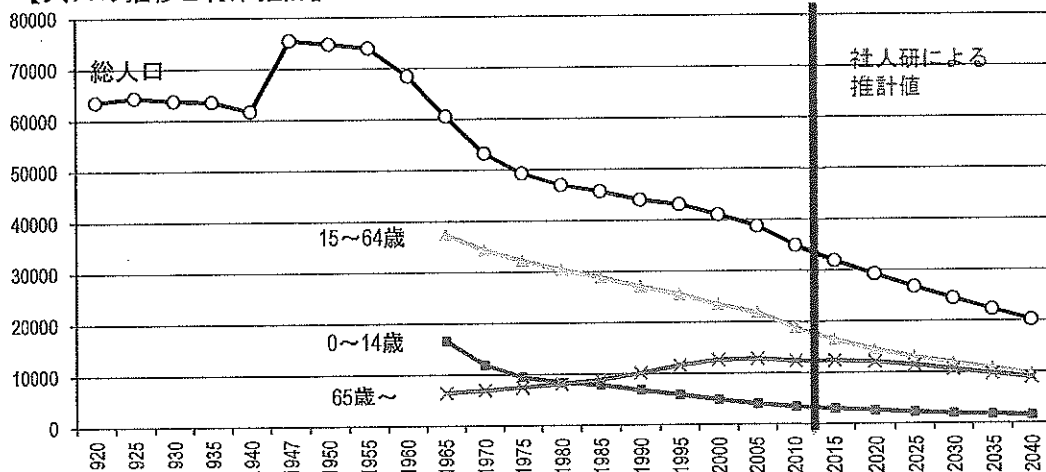
国勢調査からの人口推移をみると、戦後、人口が急増し、1947年の75,570人を頂点として人口が減少し続けている。特に高度経済成長期にあたる1955年から1975年に大きく減少、1975年に5万人を割り込んでいる。直近の2010年では34,963人となり、1950年と比べて約4万1千人減少している。

年齢3区分別人口をみると、年少人口（0・14歳）は、資料のある1965年以降、一貫して減少が続いている。特に高度経済成長期の人口流出の影響から1965年から1975年にかけて大幅に減少、1985年には老年人口を下回った。

生産年齢人口（15・64歳）は、資料のある1965年以降、総人口と同じような減少傾向にある。

一方、老年人口は、資料のある1965年以降、平均余命が延びたこと、生産年齢人口が順次老年期に入ったことから増加を続けたが、2005年をピークに微減に転じている。

【人口の推移と将来推計】



出典) 2010年までの人口は「国勢調査」、2015年以降の推計値は国立社会保障人口問題研究所

年		総人口	0~14歳 年少人口	15~64歳 生産年齢 人口	65歳以上 老年人口
1920	大正 9	63,587	—	—	—
1925	14	64,425	—	—	—
1930	昭和 5	63,823	—	—	—
1935	10	63,627	—	—	—
1940	15	61,704	—	—	—
1947	22	75,570	—	—	—
1950	25	74,824	—	—	—
1955	30	74,013	—	—	—
1960	35	68,494	—	—	—
1965	40	60,579	16,619	37,489	6,471
1970	45	53,270	11,899	34,412	6,959
1975	50	49,330	9,512	32,304	7,514
1980	55	47,013	8,429	30,464	8,120

年		総人口	0~14歳 年少人口	15~64歳 生産年齢 人口	65歳以上 老年人口
1985	昭和 60	45,760	7,895	28,944	8,921
1990	平成 2	44,039	6,806	27,090	10,143
1995	7	43,115	5,922	25,552	11,641
2000	12	41,077	4,868	23,558	12,651
2005	17	38,799	4,029	21,907	12,863
2010	22	34,963	3,429	18,935	12,360
2015	27	31,925	3,025	16,518	12,382
2020	32	29,274	2,623	14,545	12,107
2025	37	26,772	2,266	13,024	11,482
2030	42	24,462	1,989	11,851	10,622
2035	47	22,309	1,793	10,804	9,712
2040	52	20,234	1,616	9,620	8,998

高梁市立小学校 児童数の推移(H29~H34)

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		高梁小	男	29	24	18	30	22	25	36	24	28	36
	女	21	22	25	30	24	35	29	25	28	21	32	170
	計	50	46	43	60	46	60	65	49	56	57	70	357
玉川小	男	0	0	2	1	0	0	4	1	1	6	4	16
	女	0	1	2	0	5	1	1	3	3	0	2	10
	計	0	1	4	1	5	1	5	4	4	6	6	26
松原小	男	1	0	1	1	0	4	1	2	2	4	1	14
	女	0	2	0	2	1	1	2	2	1	4	0	10
	計	1	2	1	3	1	5	3	4	3	8	1	24
落合小	男	24	17	30	16	19	9	17	17	21	14	22	100
	女	25	21	16	26	16	18	17	19	9	20	22	105
	計	49	38	46	42	35	27	34	36	30	34	44	205
福地小	男	1	0	0	1	0	1	3	3	1	1	1	10
	女	0	2	0	0	1	0	1	0	2	0	0	3
	計	1	2	0	1	1	1	4	3	3	1	1	13
合計		101	89	94	107	88	94	111	96	96	106	122	

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		津川小	男	7	3	2	4	4	3	8	8	1	6
	女	3	1	5	4	6	6	3	3	7	8	2	29
	計	10	4	7	8	10	9	11	11	8	14	3	56
巨瀬小	男	2	1	3	0	1	2	2	5	3	1	4	17
	女	2	2	2	0	4	1	3	2	5	5	4	20
	計	4	3	5	0	5	3	5	7	8	6	8	37
合計		14	7	12	8	15	12	16	18	16	20	11	

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		川面小	男	3	3	3	7	7	5	4	5	3	8
	女	5	7	0	3	3	1	8	8	5	4	8	34
	計	8	10	3	10	10	6	12	13	8	12	14	65
中井小	男	2	1	3	1	3	1	2	2	1	2	0	8
	女	2	4	2	2	1	5	2	1	2	3	0	13
	計	4	5	5	3	4	6	4	3	3	5	0	21
宇治小	男	2	2	1	2	0	0	2	1	1	1	3	8
	女	2	0	1	1	4	0	0	1	1	1	0	3
	計	4	2	2	3	4	0	2	2	2	2	3	11
合計		16	17	10	16	18	12	18	18	13	19	17	

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		有漢東小	男	4	5	3	4	3	5	3	3	3	3
	女	3	2	4	4	5	1	3	3	2	4	4	17
	計	7	7	7	8	8	6	6	6	5	7	8	38
有漢西小	男	0	2	5	3	5	3	5	4	4	9	4	29
	女	1	7	3	5	2	8	4	6	6	6	3	33
	計	1	9	8	8	7	11	9	10	10	15	7	62
合計		8	16	15	16	15	17	15	16	15	22	15	

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		川上小	男	8	1	5	6	5	7	8	5	10	12
	女	1	4	4	4	4	6	8	3	5	10	5	37
	計	9	5	9	10	9	13	16	8	15	22	12	86

	年齢	H34入	H33入	H32入	H31入	H30入	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
		成羽小	男	8	17	13	18	10	15	14	13	11	22
	女	18	9	11	16	7	9	14	11	15	5	19	73
	計	26	26	24	34	17	24	28	24	26	27	36	165
富家小	男	2	1	2	3	3	6	3	5	2	1	5	22
	女	4	2	1	2	6	2	2	5	4	3	5	21
	計	6	3	3	5	9	8	5	10	6	4	10	43
合計		32	29	27	39	26	32	33	34	32	31	46	


高梁市立中学校 生徒数の推移(H29~H40)

	学年	40入	39入	38入	37入	36入	35入	34入	33入	32入	31入	30入	1	2	3	計	
1	高梁中	男	55	41	51	49	41	39	61	47	53	61	66	66	39	63	168
		女	46	48	43	58	47	55	50	49	43	45	56	48	54	55	157
		計	101	89	94	107	88	94	111	96	96	106	122	114	93	118	325
2	高梁東中	男	9	4	5	4	5	5	10	13	4	7	5	10	3	8	21
		女	5	3	7	4	10	7	6	5	12	13	6	10	7	16	33
		計	14	7	12	8	15	12	16	18	16	20	11	20	10	24	54
3	高梁北中	男	7	6	7	10	10	6	8	8	5	11	9	8	6	11	25
		女	9	11	3	6	8	6	10	10	8	8	8	5	6	10	21
		計	16	17	10	16	18	12	18	18	13	19	17	13	12	21	46
4	有漢中	男	4	7	8	7	8	8	8	7	7	12	8	8	9	8	25
		女	4	9	7	9	7	9	7	9	8	10	7	8	9	9	26
		計	8	16	15	16	15	17	15	16	15	22	15	16	18	17	51
5	川上中	男	8	1	5	6	5	7	8	5	10	12	7	10	9	12	31
		女	1	4	4	4	4	6	8	3	5	10	5	8	11	7	26
		計	9	5	9	10	9	13	16	8	15	22	12	18	20	19	57
6	成羽中	男	10	18	15	21	13	21	17	18	13	23	22	24	32	18	74
		女	22	11	12	18	13	11	16	16	19	8	24	14	22	29	65
		計	32	29	27	39	26	32	33	34	32	31	46	38	54	47	139

※平成28年5月の住民基本台帳に基づき児童、生徒数を算出

高梁市立小学校 児童数、学級数、教員数の推移(H29~H34)

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
高梁中学校区	高梁小	全校児童	357	333	336	323	320	305
		学級数(通常)	12	12	12	12	12	12
		校長・教員数	15	15	15	15	15	15
	玉川小	全校児童	26	25	20	20	17	12
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	4	4	4	4	4	4
	松原小	全校児童	24	24	19	17	15	13
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	4	4	4	4	4	3
	落合小	全校児童	205	196	204	220	222	237
		学級数(通常)	7	6	7	8	9	10
		校長・教員数	9	8	9	11	12	13
福地小	全校児童	13	13	13	10	9	6	
	学級数(通常)	3	3	3	3	3	3	
	校長・教員数	4	4	4	4	4	4	

 \*教頭が担任

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
高梁東中学校区	津川小	全校児童	56	63	57	56	49	48
		学級数(通常)	6	6	6	6	6	5
		校長・教員数	8	8	8	8	8	7
	巨瀬小	全校児童	37	34	28	25	21	20
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	4	4	4	4	4	4

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
高梁北中学校区	川面小	全校児童	65	61	59	54	51	47
		学級数(通常)	6	6	6	6	6	4
		校長・教員数	8	8	8	8	8	6
	中井小	全校児童	21	25	23	25	27	27
		学級数(通常)	3	4	3	3	4	4
		校長・教員数	4	6	4	4	6	6
	宇治小	全校児童	11	12	13	13	13	15
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	4	4	4	4	4	4

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
有漢中学校区	有漢東小	全校児童	38	38	39	41	42	43
		学級数(通常)	4	4	4	4	4	4
		校長・教員数	6	6	6	6	6	6
	有漢西小	全校児童	62	62	55	53	52	44
		学級数(通常)	6	6	6	6	4	4
		校長・教員数	8	8	8	8	6	6

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
川上中学校区	川上小	全校児童	86	83	71	65	62	55
		学級数(通常)	6	6	6	6	6	6
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
成羽中学校区	成羽小	全校児童	165	146	153	151	153	151
		学級数(通常)	6	6	6	6	6	6
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8
	富家小	全校児童	43	42	43	40	33	34
		学級数(通常)	4	4	4	3	3	5
		校長・教員数	6	6	6	4	4	7



高梁市立中学校 生徒数、学級数、教員数の推移(H29～H40)

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	
1	高梁中	生徒数	325	329	342	324	298	303	301	293	289	289	290	284
		学級数(通常)	11	11	11	10	9	10	10	10	10	10	10	9
		校長・教員数	19	19	19	18	16	18	18	18	18	18	18	16
2	高梁東中	生徒数	54	41	51	47	54	50	46	43	35	35	27	33
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
3	高梁北中	生徒数	46	42	49	49	50	49	48	48	46	44	43	43
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4	有漢中	生徒数	51	49	53	52	53	46	48	47	48	46	47	39
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
5	川上中	生徒数	57	50	52	49	45	39	37	38	32	28	24	23
		学級数(通常)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
6	成羽中	生徒数	139	138	115	109	97	99	99	91	97	92	95	88
		学級数(通常)	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
		校長・教員数	10	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8

※平成28年5月の住民基本台帳に基づき児童、生徒数を算出

\* 校長・教員数

通常学級数	1	2	3	4	5	6	7	
配当数	小学校	2	3	4	6	7	8	9
	中学校	3	6	8	9	10	11	13

注:その他、加配等も有り教員数が増えることもある。

## 児童生徒の減少による小・中学校の課題

### ○学校運営上の課題

- ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない。
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
- ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。
- ・班活動やグループ分けに制約が生じる。
- ・協議的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。
- ・教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる。
- ・児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。
- ・教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる。
- ・学級の生徒数があまりにも少ない場合、第二期の教育振興基本計画において盛り込まれている「言語活動の充実や、グループ学習、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新」に制約が生じ、新たな時代に求められる教育活動を充実させることが困難になる。

### 特に

- ・複式学級となる場合には、単式学級との転出入で未習事項が生じるおそれがある。また、兄弟姉妹が同じ学級になり、指導上の制約を生ずる場合もある。2学年分の教材を購入することもあり、保護者負担が偏ったり保管に十分な注意を要したりする。
- ・運動会・文化祭・修学旅行・宿泊研修等の集団活動・行事の教育効果が下がる。
- ・男女比の偏りが生じやすい。
- ・上級生・下級生間のコミュニケーションが少なくなる。学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる。
- ・部活動の種類が限定される。(中学校)

### ○学校運営上の課題が生徒に与える影響

- ・集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験が積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい。
- ・児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ・協同的な学びの実現が困難となる。
- ・切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。
- ・教員への依存心が強まる可能性がある。
- ・進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。
- ・多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。
- ・多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。

○配置される教職員数が少なくなることによる学校運営上の影響

- ・経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを活かした指導の充実が困難になる。
- ・教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより、学校経営が不安定になったりする可能性がある。
- ・チーム・ティーチング、グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることが困難となる。
- ・学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均衡が生ずる。
- ・教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達がなされにくい（学年会や教科会等が成立しない）。
- ・学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある。
- ・免許外指導の教科が生まれる可能性がある。（中学校）
- ・部活動の指導者確保が困難になる。（中学校）

○各学年で複数学級を編制でき、クラス替えが可能になる場合の教育的効果

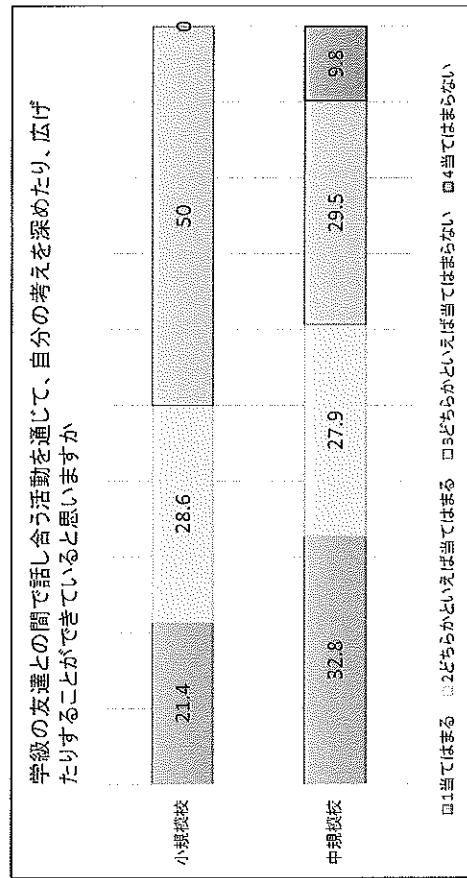
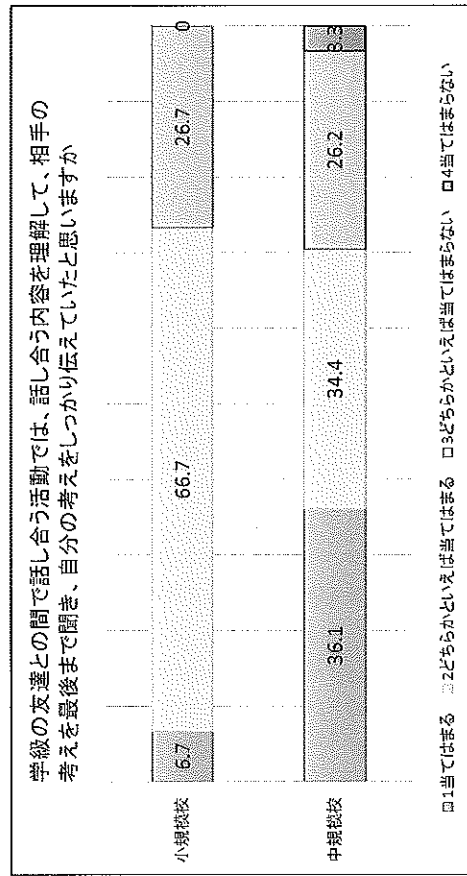
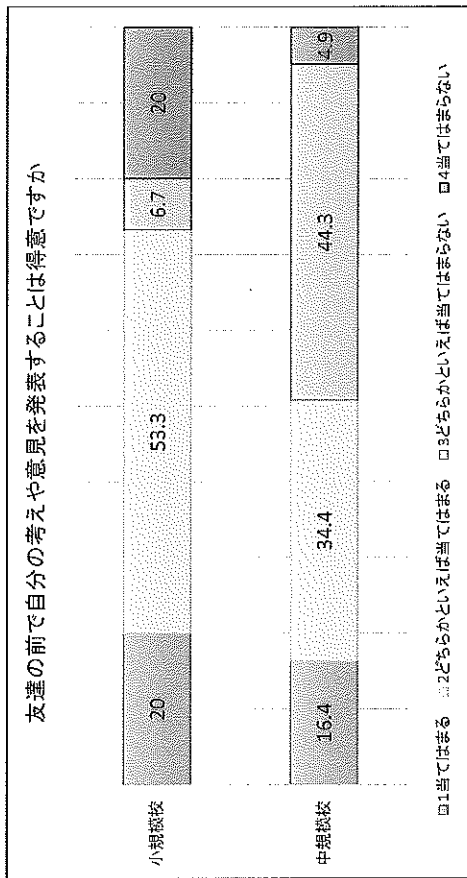
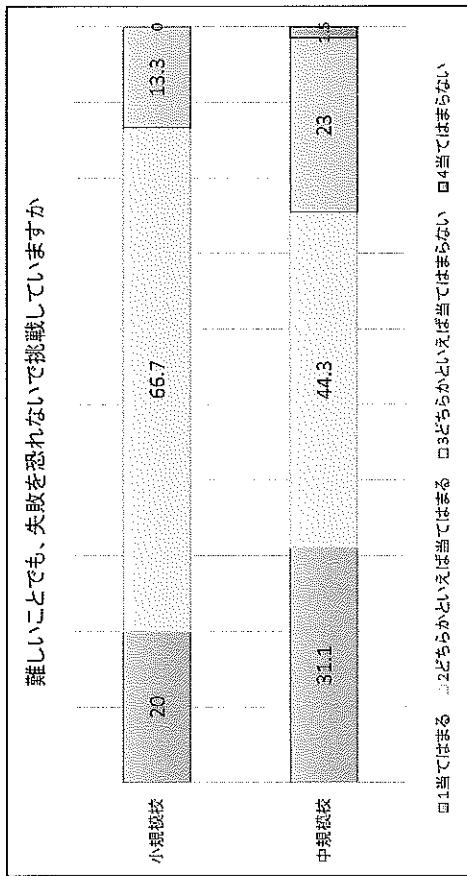
- ・生徒同士や生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる。
- ・生徒を多様な意見に触れさせることができる。
- ・新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる。
- ・クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる。
- ・指導上課題のある生徒を各学級に分けることにより、きめ細かな指導が可能になる。

参考 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

平成 27 年 1 月 27 日 文部科学省

全国学力・学習状況調査からわかるコミュニケーション力等について

平成28年度全国・学力状況調査児童質問紙より



小規模校 …… 市内小規模校5校(15名)  
 中規模校 …… 市内中規模校1校(61名)